学校番号	3010

令和8年度　　工業　　科

教科	工業	科目	プロダクトデザイン実習	単位数	5 単位	年次	3 年次
使用教科書	自主編成教材						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

前期・後期と各３つの班に分かれる。生徒は前後期に希望するコースを１つ、年間に計２コースを選んで学習する。生徒が自ら社会とデザイン問題意識を持って改善・向上をめざして主体的に取り組むとともに、プロダクトデザインの実践的な各表現スキルを身に付ける。特に素材と加工の技術等の応用力を身に付ける。制作された作品はコンペティションにも積極的に参加を求める。最後に自己作品のプレゼンテーションを行い情報発信能力の育成や姿勢も重視する。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
プロダクトデザイン（工業分野）のもつ社会的な意義や役割を理解し、人と技術との関わり踏まえて、関連するデザイン能力や造形表現能力に加え、現代の社会に求められる、デジタルデザインスキルを養う
【思考力、判断力、表現力等】
プロダクトデザイン（工業分野）の人と技術との関わりを踏まえて、問題を自ら課題を発見し、解決する力を養う
【学びに向かう力、人間性等】
プロダクトデザイン（工業分野）のもつ社会的な意義や役割を理解し、人と技術との関わりを踏まえて、関連するデザインや造形に深い関心と意欲をもち、主体的かつ協働的に取り組む態度を養う

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a：知識・技術	b：思考・判断・表現	c：主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	プロダクトデザイン（工業分野）のもつ社会的な意義や役割を理解し、人と技術との関わり踏まえて、関連するデザイン能力や造形表現能力に加え、現代の社会に求められる、デジタルデザインスキルを養う	プロダクトデザイン（工業分野）の人と技術との関わりを踏まえて、問題を自ら課題を発見し、解決する力を養う	プロダクトデザイン（工業分野）のもつ社会的な意義や役割を理解し、人と技術との関わりを踏まえて、関連するデザインや造形に深い関心と意欲をもち、主体的かつ協働的に取り組む態度を養う
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	インテリア実習	●グランドテーマ提示 ・個人テーマ設定 ・情報収集 ・コンセプト ・アイデアスケッチ ・パースおよび三面図 ・制作の基本素材 ・金属加工・木材加工など ・モデル制作 ・作品制作 ・イラストレーター、フォトショップ ・プレゼンボード制作 ・発　表	a：作業工程を理解して適切な時間配分を行いアイディアや制作を行うことができる。また、諸注意を聞いて安全に配慮しつつ作業を行うことができる。 b:現代の社会に求めれる問題を自ら課題研究し、調査することができる。個人テーマを考え豊かな発想のアイディア展開・コンセプト立案ができ、機能的で魅力的なデザインである。 C:自己の作品を発信するためのプレゼンツール制作や良好なプレゼンテーションができ,主体的かつ協働的に取り組むことができる。	学習状況の観察 作品制作過程 デジタルスキル 作品	調査レポート アイデア検討会 企画 コンセプト アイデアスケッチ	学習状況の観察 プレゼンテーション 課題の提出状況
2学期	生活デザイン	グランドテーマ提示 ・個人テーマ設定 ・情報収集 ・コンセプト ・アイデアスケッチ ・パースおよび三面図 ・モデル制作 ・作品制作 ・作品撮影 ・イラストレーター、フォトショップ ・プレゼンボード制作 ・発　表	a：作業工程を理解して適切な時間配分を行いアイディアや制作を行うことができる。また、諸注意を聞いて安全に配慮しつつ作業を行うことができる。 b:現代の社会に求めれる問題を自ら課題研究し、調査することができる。個人テーマを考え豊かな発想のアイディア展開・コンセプト立案ができ、機能的で魅力的なデザインである。 C:自己の作品を発信するためのプレゼンツール制作や良好なプレゼンテーションができ,主体的かつ協働的に取り組むことができる。	学習状況の観察 作品制作過程 デジタルスキル 作品	調査レポート アイデア検討会 企画 コンセプト アイデアスケッチ	学習状況の観察 プレゼンテーション 課題の提出状況
3学期	照明デザイン	●グランドテーマ提示 ・個人テーマ設定 ・情報収集 ・コンセプト ・アイデアスケッチ ・パースおよび三面図 ・制作の基本素材 ・金属加工・陶土加工など ・モデル制作 ・作品制作 ・イラストレーター、フォトショップ ・プレゼンボード制作 ・発　表	a：作業工程を理解して適切な時間配分を行いアイディアや制作を行うことができる。また、諸注意を聞いて安全に配慮しつつ作業を行うことができる。 b:現代の社会に求めれる問題を自ら課題研究し、調査することができる。個人テーマを考え豊かな発想のアイディア展開・コンセプト立案ができ、機能的で魅力的なデザインである。 C:自己の作品を発信するためのプレゼンツール制作や良好なプレゼンテーションができ,主体的かつ協働的に取り組むことができる。	学習状況の観察 作品制作過程 デジタルスキル 作品	調査レポート アイデア検討会 企画 コンセプト アイデアスケッチ	学習状況の観察 プレゼンテーション 課題の提出状況

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度